

.....
おくちの
相談室
.....

【問】奥歯が痛んで夜眠れずに、歯科を受診しました。歯は悪くないとのことですが、痛み止めだけをもらいましたが、改善しません。何か悪い病気ではないかと心配です。

【答】歯は悪くないのに、歯が痛いということがまれにあります。例えば、「歯が痛い」という感覚があるのに、その歯をたたいても、歯肉を押しても特に痛まない。エックス線でも病変は見られない。ものすごく痛いときもあれば、全く痛くない時間もある。洗顔や歯磨き、頭を動かしたときに痛みが誘発される。このような場合、三叉神経痛という疾患が疑われます。

三叉神経は脳幹から出る脳神経の一つで顔面感覚をつかさどります。三叉神経痛は顔の痛みとして発症するものですが、歯痛として感じて歯科を受診する人も多いのです。歯にはむし歯などの異常がないため、原因不明の歯痛として長期経過する

かまさき歯科クリニック院長

（長崎市新大町）

回答者
かまさき なるひろ
金 崎 勢 大



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

歯は悪くないのに続く痛み

三叉神経痛を疑い受診を

こともあります。

三叉神経痛は多くの場合、脳内で三叉神経と動脈が近接することが原因です。動脈の拍動が神経を刺激して痛みを感じてしまうことがあります。診断のために、脳神経外科で、脳のMRIを撮影して、三叉神経と動脈の位置関係を確認することもあります。三叉神経痛は、まれに脳腫瘍の腫大により起こることもあるので、MRIによる画像を精査することは有用です。

治療は、まずは飲み薬による治療を行います。カルバマゼピンやプレガバリンというお薬を飲んで経過を診ます。ほとんどの患者さんは、これにより痛みが全くなくなるか、大幅に減少します。痛みに応じてお薬の増減を行います。お薬で改善されない場合は、脳神経外科で「微小血管減圧術」という手術を行うこともあります。

歯が痛いのに、むし歯や歯周病が確認されなかった場合や、治療をしても痛みがひかない場合は、三叉神経痛を疑い、口腔外科、ペインクリニック、脳神経外科を受診してみるのもよいでしょう。まずは、かかりつけの歯科医院の先生と相談されることをお勧めいたします。